

第4回 鹿島市まち・ひと・しごと創生会議 会議録

平成 28 年 3 月 29 日(金)14:00~16:30 庁舎 5 階大会議室

○報告

代理出席 鹿島市区長会 山口賢治 ⇒ 栗山和明

佐賀銀行鹿島支店 古川淳一 ⇒ 木村英樹

欠席 漁業協同組合 山下ゆかり、鹿島実高 石井誠二

①平成 27 年度 地方創生先行型交付金事業の評価・検証について

事務局説明

(省略)資料 1

②総合戦略に基づく平成 28 年度事業について

事務局説明

(省略)資料 2

③まち・ひと・しごと創生会議の今後の展開について

事務局説明

(省略)資料 3

④今後のスケジュールについて

事務局説明

●意見交換、質疑応答

①平成 27 年度 地方創生先行型交付金事業の評価・検証について

【前田委員】(公募)

事業番号 5(鹿島市企業誘致推進基盤整備事業)について、企業誘致の件数がゼロということで実際結果を出すのは難しい分野だと思うが、鹿島市内には世界的な企業がたくさんある。こういった企業を大きくしていくという考えはないか。またそのような企業には市内の人がもっと就職できるような働きかけはできないか。

《産業部長》

市の想定以上に企業は成長・拡大されている。また、市内の子ども達がそういった企業に就職できるよう十分サポートしていきたいと考えている。

【前田委員】(公募)

事業番号 6(鹿島市産業支援センター設置・運営事業)について、創業件数がゼロとなっている。この取り組み今後も続いていくのか。また、既存の企業も対象となっているのか。

《商工観光課》

開設した鹿島ビジネスサポートセンターで今後も創業支援を行っていく。既存の企業も対象である。気軽に相談に来てもらえるよう改善していきたい。

【小川委員】(公募)

事業番号 4(重点道の駅整備方針等策定)について、道の駅の整備計画には遊戯施設の建設は含まれているのか。親子で遊べるメリーゴーランドや観覧車などを建設したらどうか。

《商工観光課》

子どもが遊べる広場は計画しているが、大型の遊技施設といったものは考えていない。簡易な遊具は検討したい。

【小川委員】(公募)

事業番号 7(鹿島市観光プロモーション事業)について、鹿島市に免税店は設置するのか。通訳はいるのか。

《商工観光課》

観光プロモーション事業の中には免税店の設置、通訳の養成は入っていない。ただし、事業番号 13(鹿島市観光プロモーション事業上乘せ分)にて、駅前の観光案内所に通信型の通訳アプリを導入し、オペレーターごしに 5 言語の通訳対応を行う設置する予定である。また、門前商店街の方で 1 件免税店の手続きを取られている。

【高松委員】(老連)

事業番号 4(重点道の駅整備方針等策定)について、道の駅はどここのまちでも簡単に建設できるのか

《市長》

国交省の手続き等があり、簡単に建設はできない。鹿島と太良にも近すぎる範囲で道の駅があるが、これは政治的な経緯がある。

【高松委員】(老連)

旭ヶ岡公園の整備をお願いしたい。また、武家屋敷通りも観光面での強化をお願いしたい。

《産業部長》

旭ヶ岡公園は施設として整備が完了している。武家屋敷通りも、鹿島市の魅力的なスポットとして PR を強化していきたい。

【高松委員】(老連)

大手門の修復は県がすると聞いているが、現在どのような状況か。

《生涯学習課》

H28、29 年度にかけて県に補助の申請し修理を行う予定である。検討委員会を立ち上げて調査を行う。H28 年度は地盤調査を行う予定である。

【高松委員】(老連)

大手門橋は太鼓橋なので、車の底が接触する。また、城内の桜のトンネルはトラックが通ると桜に接触し花が散ってしまうので、トラックを通行止めにはできないか。

《都市建設課》

桜のトンネルは生活道路のため、地域住民の方の合意が必要であり、簡単に通行止めにはできない。

《建設環境部長》

大手門橋については、以前から要望があり 5 年くらい前に舗装を行い調整したところである。今後検討したい。

【前田委員】(公募)

事業番号 4(重点道の駅整備方針等策定)の中にインバウンド観光の受け入れ充実とあるが、海外からのお客様に向けて、道の駅や鹿島駅などにも海外向けパンフレットを設置してほしい。

《商工観光課》

以前から多言語(英・韓・中繁・中簡)パンフレットを市内の観光施設に配布している。今回観光プロモーション事業で新たに以前の 4 言語とタイ語のバージョンを作成したので、それも設置する。

【太田尾委員】(フォーラム)

事業番号 4(重点道の駅整備方針策定)について、レストラン・展望館・体育館・プールなどの整備を今後進めていくにあたり、予算面でどうなっているか知りたい。

《商工観光課》

予算としては、国の補助事業を活用しながら、新設・改修を進めていく。重点道の駅に指定に伴い資金が準備されるというわけではなく、一般的な補助事業として国に申請していく。

《産業部長》

重点道の駅に指定されているので、補助の申請が優先的に採択されやすい状況になっている。

【太田尾委員】(フォーラム)

事業番号 1(肥前浜宿空き町家入居促進事業)について、移住希望者はどのくらいいたのか。

《都市建設課》

問い合わせも含め 13 件あった。

【山口委員】(公募)

事業番号 4(重点道の駅整備方針策定)について、昨年聞いた話では鹿島の道の駅の売り上げは 4 億、太良の道の駅の売り上げは 8 億と聞いている。また、太良の道の駅は佐賀・長崎両方面からも目に付きやすいうえ、鹿島の道の駅は手狭な感じがして、整備しても根本的にキャパシティが足りないと思う。この整備方針ではそのような点をどう考えたのか。

《商工観光課》

レイアウトを整理すればスペースは十分確保できる。既存の範囲を広げる計画はない。

《市長》

鹿島の道の駅は、S51 年水害の時の元々残土捨て場を七浦の人が有効活用して出来たものであり、太良の道の駅は最初からその目的で作られているためそもそも条件が違う。また、鹿島の道の駅は鹿島産のものを売るというコンセプトがあり、太良の道の駅は他のところのものも売っている。これが、鹿島が重点道の駅に選ばれた理由の一つである。ただし、入り口をつけかえたり、有明海特有の生物のミニ水族館などを考えている。また極力新たな建物は建てず、今のスペースを生かしながら利便性を高めるような整備に取り組んでいく。単に売上を上げることが目標ではなく、全国 1040 ほどある道の駅で極めて少額の売り上げでありながらも、重点道の駅に選ばれた理由である有明海の地域性を生かした道の駅である特徴をさらに高め、ユニークな道の駅となるよう整備を進めていく。

【山口委員】(公募)

事業番号 6(鹿島市産業支援センター設置・運営事業)について、相談場所が週 1 回、商工会館であるが、市民交流プラザかたらいという選択肢も検討すべきではないか。また、セミナーやサポートセンターの情報提供・啓発活動を強化した方がよいのではないか。

《商工観光課》

商工会館は会員以外の方が入りにくいという意見があるので、場所は再考したい。また、専門家の配置も週一回ではなく、常駐での体制を考えている。H28 年度は情報発信にも力を入れて、ニーズの掘り起こしに力を入れていきたい。

【向井委員】(文化連盟)

事業番号 11(新商品等販路支援ショップ)・事業番号 12(地域資源活用による地域振興事業)について、海道するべの活用、PR が弱い。海道するべを知らない人が多い。海道するべにはあまり商品が置いていないので、地元産の野菜を販売してみたらどうか。また、デリカテッセンのレシピが市報にも載っているが、デリカテッセンを知らない人が多い。市内の人隔々まで知ってもらえるやり方を考えてほしい。

《産業支援課》

海道するべは情報発信の強化が必要だと考えている。販売額は年々増加し今回も目標額を達成しているが、今後道の駅と連携しながら、さらなる売上げアップや利用者数の増加を図っていききたい。また現在の状況としては、開発品と32品目をラインナップしており、今後は休憩できるベンチや眺望を活かした案内板の設置を進めている。デリカテッセンも鹿島駅の物産センターでしか買えないので、道の駅との連携しながら周知を図っていききたい。

《市長》

海道するべは PR が上手くいっていない。元々は加工品の研究・テスト施設であり、販売が目的ではない。個人で導入が難しい性能が良い機械を置いているので自由に活用していただきたい。将来的には観光施設など別の役割としても生かせるように活用していく。

②総合戦略に基づく平成 28 年度事業について

【峰松委員】(公募)

26 番(観光プロモーション事業)に関して、旭ヶ岡公園も市内回遊の仕掛けづくりに関わると思うが、桜樹保存会では旭ヶ岡公園にソメイヨシノを植えており、土壌が合っておらず生育が良くないという話を聞いているがここ数年調査等はされているのか。

《都市建設課》

桜樹保存会の中に専門的の業者の方がいらっしゃるの、相談しながら土壌改良を行いたい。詳細な調査は行ってないので、検討したい。

【峰松委員】(公募)

4 年前にも桜樹保存会の総会の時に同じ回答をもらった。本当によい公園と思っているなら、真剣に取り組みをお願いしたい。

【前田委員】(公募)

7 番(有明海海底耕耘支援事業)について、あげまきの養殖の予定があるのか。

《農林水産課》

海苔養殖の漁場を中心に海底耕耘を行うことが目的で、ち貝の放流等を行う予定はない。

【高松委員】(老連)

31 番(保育所運営事業)について、鹿島の待機児童の状況はどうなっているのか。

《福祉事務所》

どこの保育園にも入れない人はいないが、保護者が希望する園に入れられないケースはある。

【高松委員】(老連)

希望者が多い園とそうでない園があるが、市から指導したりはできないのか。

《市長》

人気によって定員を捜査するのは好ましくない。保育園児の保護者は仕事を持っている人が前提なので、送り迎えなどの兼ね合いから希望が均等にはならない。

【諸上委員】(社協)

18 番(空き家登録活用事業)について、空き家バンクは市外移住者だけ利用可能なのか。また、自分の家を登録したい人の相談・問い合わせはよくあるのか。

《都市建設課》

空き家バンクは市外・市内の人も利用可能であるが、住宅改修の補助は市外からの移住者に限る。空き家バンクへは年 1、2 件登録されている状況である。

【諸上委員】(社協)

家を壊したい人もいれば、アパートにずっと住んでいる人もいるので、互いのニーズがマッチするよう引っ越しの手続きの時や独居の方が亡くなられた時などに制度を案内したらどうだろうか。

《都市建設課》

個別にすべての方へ対応することは現段階では難しいと考える。ホームページ上で空き家バンクを掲載しており、市内の不動産業者にも紹介してもらうようお願いをしている。空き家とはいえ、所有者の方にとっては住んでいなくても先祖代々の家であったり思い入れがあったりプライベートな性質が強く、件数が増えない状況にある。また、登録されている物件は全て売買物件だが、住居を求めている方は賃貸を希望されるケースが多く、条件の違いによって契約件数が伸びない状況にある。

【中島委員】(森林)

48 番(防災情報伝達システム整備事業)について、自宅に防災無線を 2 カ月くらい前に付けてもらったが、実際いつから稼働するのか。

《総務部長》

無線の本体を新世紀センターに設置するが、センターの完成が部材調達の関係で 3 月末から 8 月に伸びたため、実際の稼働はセンターの完成後になる。

【小川委員】(公募)

43 番(タブレット端末の導入)に関連して、ICT 教育は先生が教えるのか、専門の人が教えるのか。また、タブレット端末は生徒に与えるのか。

《教育総務課》

電子黒板やタブレット端末などの ICT を活用し、教員が教える。タブレット端末は個人に配布するものではなく、パソコン教室に設置する。

【山口委員】(公募)

19 番(市営住宅建設事業)について、市営住宅建設の戸数は決まっているのか。

《都市建設課》

40 戸の建設を予定している。

【山口委員】(公募)

事業費は 1 億 3 千万とあるが、どういう内容か。PFI での民間事者の負担はどうなっているか。

《都市建設課》

事業費のほとんどは用地取得費である。住宅の建設に関しては、PFI によって民間の資金を活用し、市の支出を少なくすることが可能だが、現段階では詳細な計画が決まっていない。